

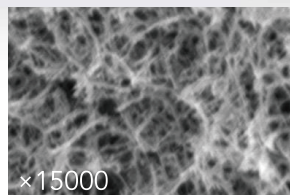
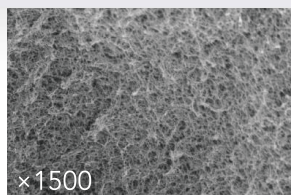


クロマトグラフィー担体



Cellufine™ (セルファイン®)とは？

セルファインは、真球状かつ多孔質構造を持つ
セルロース粒子をベースにしたクロマトグラフィー担体です。
粒子サイズは数十～数百 μm (シャープな分布) で、
分取クロマトグラフィーに適しています。
40年以上にわたり、世界中のユーザーに信頼されています。



- アフィニティ
- イオン交換
- 疎水性相互作用
- ミックスモード
- ゲルろ過



主な強み

セルロースベース

高吸着性能や高流速に対応し、
高い親水性によりタンパク質の非特異的吸着が少なく、
セルロースならではのアフィニティー構造も実現

自社で造粒からリガンド付加まで実施
カスタマイズも可能

信頼性の高い技術サポート



※カスタマイズ対応につきましては、内容によってはご希望に添えない場合もございます。詳細はご相談の上、技術的・製造的な観点から判断させていただきます。

JNC JNC株式会社について

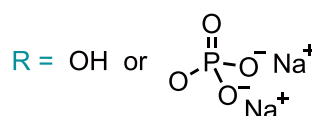
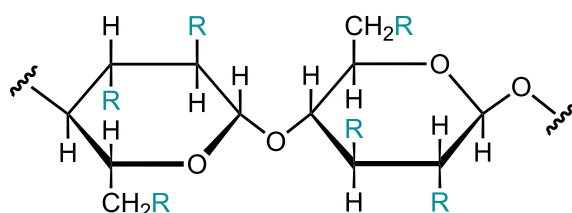
JNCグループは、1906年に曾木電気株式会社として創業し、日本の化学産業を牽引してきたパイオニアです。
セルファインは、東京本社で統括され、横浜研究所で開発、熊本県水俣市の工場で製造されています。
欧米向けの販売サポートは、JNC America, Inc.が担当しています。



セルファイン® フォスフェイト

セルファイン フォスフェイトは、リン酸エステル基をリガンドとするアフィニティークロマトグラフィー担体です。

高い選択性と安定性を備えており、核酸結合タンパク質の精製に適しているほか、mRNA製造に使用される酵素の精製にも有効です。



▶ リガンドおよび吸着特性

リガンド	リン酸エステル基
基材	セルロース粒子
リガンド密度	0.3~0.8 meq/mL
吸着容量	リゾチーム: 20 mg/mL以上
CIP安定性	0.5 mol/L NaOHで100回以上のサイクルに耐性があり、繰り返し使用可能

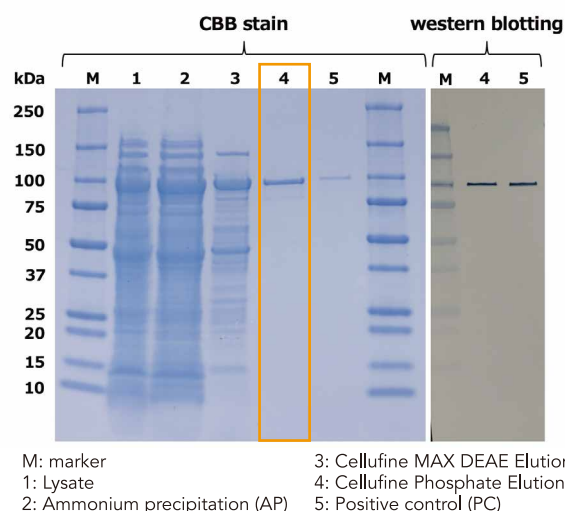
▶ T7 RNA ポリメラーゼの精製例

二段階精製プロセス:
セルファイン MAX DEAEによる粗精製
セルファイン フォスフェイトによる最終精製

酵素活性回収率: **70.2%**

タンパク質回収率: **24.7%**

SDS-PAGE解析: 単一バンドを示し、高純度であることを確認



New Release!

高吸着担体 セルファイン® フォスフェイト HC — 2026年初旬販売開始予定

従来品と比較して、T7 RNAポリメラーゼの吸着容量が**9倍以上**、
IgGの吸着容量が**7倍以上**に向上した
高吸着担体のセルファイン フォスフェイト HCが新しく登場します。